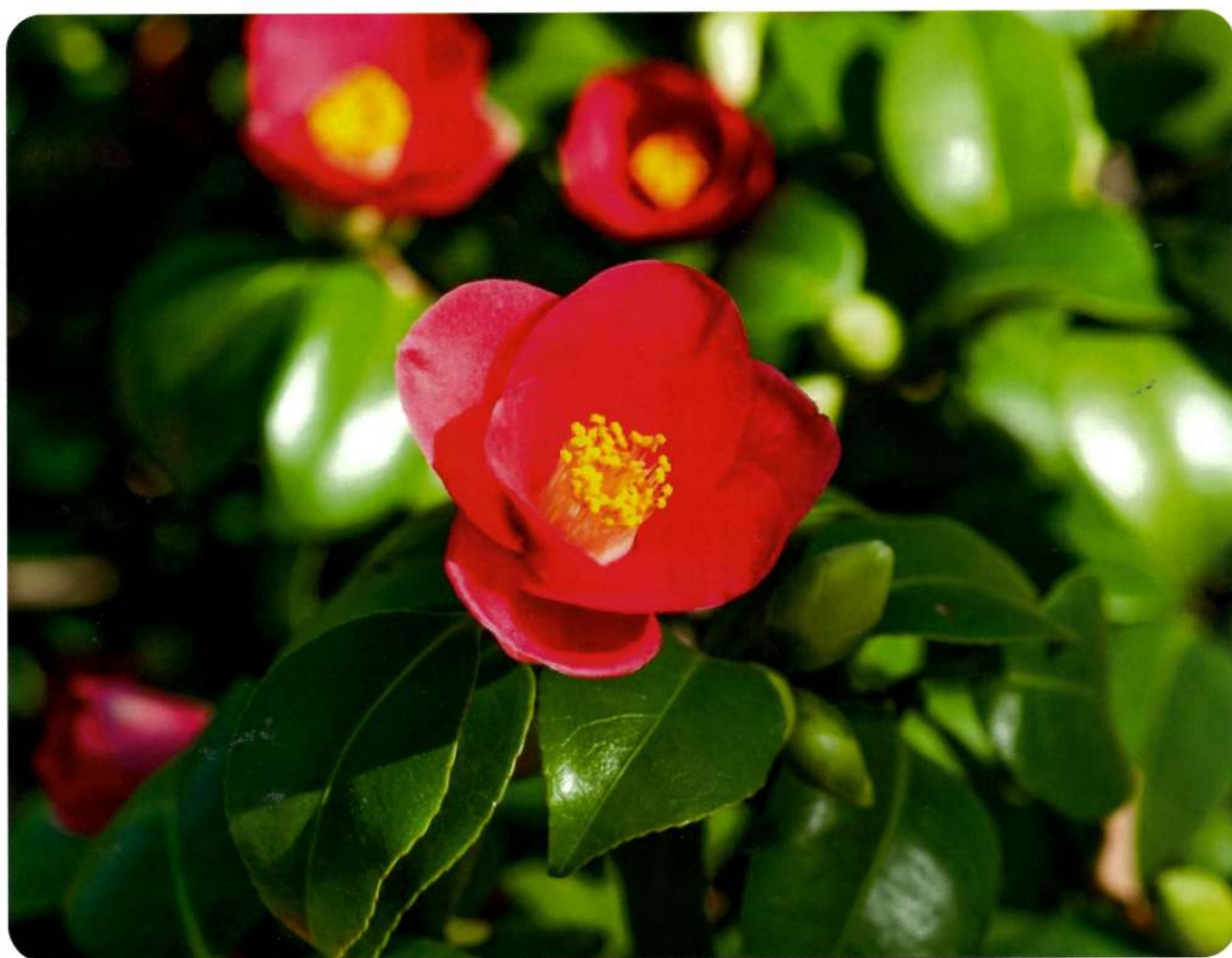


医療法人 光善会 長崎百合野病院

百合野ニュース

- 1 ごあいさつ／江崎辰男 会長
- 2 ごあいさつ／瀬良敬祐 理事長
- 3 ごあいさつ／川嶋珠美 看護部長
- 4 特集「呼吸器疾患」
- 5 ウイズコロナ
- 6 発熱外来を始めました
- 7 防災訓練



長崎百合野病院の理念

人にやさしい、温かい病院
安全で質の高い医療、品格のある病院
地域から信頼され、選ばれる病院



会長挨拶

新年のごあいさつ

会長 江崎 辰男



明けましてお目出とうございます。

健やかな新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。

昨年は大変お世話様になり、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が、世界中に猛威をふるい、パンデミックを起こしています。

我国も、感染者数は毎日過去最多を更新し、医療崩壊、経済崩壊の危機が報じられています。

菅義偉首相は、1月7日に東京都と、埼玉、千葉、神奈川3県への緊急事態宣言を発令。さらに13日には、栃木、岐阜、愛知、京都、大阪、兵庫に、九州では福岡の計7府県が追加されました。

長崎医療圏も年末年始にかけて、急速に感染が拡大し、深刻な状況になってまいりました。

長崎県は、5日に55名の感染者が確認され、県内全域に特別警戒警報を発令しました。その後9日には過去最多となる60名の感染者が確認されました。

人類の歴史は感染症の歴史とも言われています。14世紀には欧州で、ペストが大流行し、高い致死率と、皮ふが黒ずむ「黒死病」として恐れられ、全人口の1/3が死亡しました。

20世紀に大流行した「スペイン風邪」は、第一次世界大戦の戦死者数を上回る、2千万から

5千万人が死亡したとされています。

この様に、人類は数多くの感染症との戦いを続けてまいりました。感染症の研究と対策に、永年携わってきた山内一也東京大学名誉教授は、「新型コロナウイルスの感染拡大は予想外ではない、野生動物と、人間の接点が増え、人が迅速にグローバル移動する様になって拡大するのは当然だ。

今後どうなるか分からないが、楽観的にみれば、いずれは風邪のウイルスになるだろう。私たちはウイルスとの共生を探る時代に生きている。この経験を生かす事が重要だ」と話しておられます。

現在、世界中で遺伝子を利用した、新しいワクチンの開発が急ピッチで進んでおり、我国も2月下旬から接種する準備を進めています。この様に世界中の研究者が、全力を上げて予防や治療の開発に取り組んでいます。

人類は、必ずやこの新型コロナウイルスに打ち勝って行くものと確信しています。

100年に一度と言われるこの非常事態に、私共の病院も感染防止対策に万全を期し、地域医療機関と協力し、一致結束して、地域医療に取り組んでまいります。

皆様方の一層のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

新年のごあいさつ

～丑年の歴史を ひもといて～

理事長 瀬良 敬祐

明けましておめでとうございます。皆様良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は丑年、戦後の丑年にどんな事件や話題があったのか調べてみました。

2009年（平成21年）

バラク・オバマ第44代アメリカ合衆国大統領に就任

世界保健機関（WHO）が新型インフルエンザでパンデミックを宣言。世界的大流行。

1997年（平成9年）

世界初クローン羊（ドリー）開発の成功が判明
香港がイギリスから返還される

米国宇宙探査機が火星に着陸

ダイアナ元イギリス王妃パリで交通事故死

マザーテレサ死去

地球温暖化防止京都会議開幕：京都議定書が採択される

ポケモンショックが発生する

1985年（昭和60年）

ゴルバチョフがソ連共産党書記長に就任

国際科学技術博覧会（つくば博）開催

任天堂のアクションゲーム（スーパーマリオブラザーズ）発売

アメリカのニューヨークでG5がプラザ合意。翌日ドルが暴落。

日本国は1ドル200円代から100円代に高騰した。

その後日本は円高不況を経てバブル景気へ向かう

1973年（昭和48年）

祝日法改正（振替休日の導入）

アース製薬が使い捨てゴキブリ駆除「ゴキブリホイホイ」発表

日本国内での出生数ピーク（209万人）

1961年（昭和36年）

アメリカ大統領ジョンFケネディ就任

日光東照宮薬師堂が火災焼失



森光子主演による「放浪記」初演。林芙美子原作、菊田一夫演出

1949年（昭和24年）

NATO 発足：北大西洋条約

中華人民共和国成立

湯川秀樹ノーベル物理学賞受賞

長谷川町子4コマ漫画「サザエさん」開始

プロ野球が2リーグに分裂

法隆寺金堂壁画焼失

昨年のコロナ禍の影響がそのまま継続して、現在コロナ第3波の影響を受けている中で、長崎は東京、大阪、北海道のような大流行にはなっていませんが、正月帰省の自粛があっても流行地よりの伝播が気になります。

ワクチン接種がどう影響するのかわかりませんが、終焉にはならないので共存の精神でいかなければならないかと思えます。

アメリカ大統領は民主党のバイデンで決定のようですが、1つにまとまるのが困難な状態が続くかもしれません。アメリカがしっかりしないと自由主義陣営が崩れてしまうので、是非早くまとまってもらいたいものです。

中国においては、2045年まで経済を武器に世界の覇権をとる考えですが、上手くいくかどうか内部の状態が可視化されず不透明です。しかし、アメリカと中国の覇権争いの中で日本は生きていかなければならないこともまた事実です。菅首相には、世界との調和をはかりながら、日本独自の方法を見つけていくことが大切かと思えますので頑張ってもらいたいものです。

東京オリンピックの開催は、コロナがどの程度沈静化できるかにかかっていると思えます。世界の英知で何とか開催してもらいたいものです。

長崎市は県庁所在地としては全国一人口流出の激しい都市です。病院の立ち位置をしっかりと自覚して地域医療に貢献していくことが大切ではないかと思えます。今年も百合野の丘より元気を発信していきますので皆様のご協力をお願いします。

看護部長挨拶

新年のごあいさつ

看護部長 川嶋 珠美



新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えになられたことと存じます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界的に流行し、日々目まぐるしく状況が変化しています。その中で、私たちの生活様式も変化を求められています。当院におきましても新型コロナウイルス感染拡大を防止するために創意工夫をしています。病院入り口での検温・手指消毒などの感染症対応をはじめ、入院患者さんへはご家族の面会制限や面会禁止をお願いしています。ご面会ができない患者さん・ご家族のご心配や不安の軽減に努力しています。また、職員は、毎日体温測定をし自己の健康管理、県外移動の自粛、外食自粛や禁止、病院及び看護職の教育計画の見直しや看護学生の実習受け入れの検討など、その時々で精一杯考え最善策を模索しながら実施しています。

12月中旬以降長崎でも、新型コロナウイルス感染者が多く発生し感染拡大しています。医療は、テレワークなどに置き換えることができず、人と人との関りの中にあります。より一層気を引き締めて職務に取り組んでいます。

当たり前と考えていたことが当たり前でない今こそ、人間の持てる力を集結し乗り越え

ることが必要と思います。世界各国でワクチン開発も加速し今年春先にはワクチン接種が開始されるでしょう。その上、治療薬も早期に開発されると信じています。

さて、少子・超高齢化社会に備え国会では高齢者医療費の検討がなされています。患者さんの医療費負担が増え病院受診を控えることにならないよう、医療者は適切な説明をすることが大切だと思います。人生100年時代、日ごろから健康に留意しその人らしく暮らせることができる地域包括ケアシステムの充実を図り、当院の使命である地域から信頼され、選ばれる病院になるよう職員一丸となって努力していきます。

暮らしと医療を支える看護提供システムの構築、疾病の発症や重症化予防から急性期・慢性期・在宅療養におけるすべての健康段階の人に、切れ目なく看護を提供する。そのためには、看護の対象である方々の命と向き合い良質な看護を提供することが私たちの使命です。今後も、専門職として何ができるかを考え行動できる看護職員を育てると共に持続可能な職場作りを努力いたします。今後ともご支援ご協力を宜しくお願い致します。皆さま方の今年一年のご多幸をご祈念申し上げます。

知ってほしい病気の話

呼吸器疾患

今年度は新型コロナウイルス感染症に振り回されて例年通りの医療が行えない特別な年になっております。これまでは毎年冬場になるとインフルエンザを筆頭に種々の感染症が猛威を奮って我々内科医は大忙しの季節でした。かつては季節労働者とも揶揄される内科医の生活が、今年は新型コロナウイルスで一変すると誰もが予想しておりました。何故なら、ほとんどの国民がマスクを着用して、手洗いやうがいを励行することで感染症は激減すると思われていたのです。ところが現実とは全く違っており、例年通りのノロウイルス流行、患者さんの受診控えによってコントロール良好であった気管支喘息発作の来院、相変わらず多い誤嚥性肺炎の患者さんなど内科医は大忙しです。さらに超高齢化社会の先頭を突っ走っている日本では誤嚥性肺炎だけでなく、慢性心不全の増悪、いわゆる老衰など多彩な疾患にも内科医は立ち向かわなければなりません。最近の医学生には見向きもされなくなった内科医の減少が一層忙しさを増しているように感じます。

大きく話が外れてしまいましたが私に与えられたお題は、内科医の愚痴ではなくて呼吸器疾患であり、今回は気管支喘息についてお話しします。

喘息と言うと子供の病気と思われがちですが、実は幼児から老人まで幅広く存在し、呼吸器疾患の中で最も罹患患者数の多い病気です。しかしながら、喘息には多様性があり、臨床経過も患者さん毎に大きく異なるために典型的な症状のある患者さんの診断は安易ですが、咳だけの症状を呈する場合などは診断に難渋することも多くなってます。さらにタバコの病気であるCOPD（肺気腫）を合併した、いわゆる喘息合併COPDの存在は重篤化する呼吸不全の原因として大きな問題です。近年、喘息の治療は吸入療法の進歩で発作による救急外来受診や入院が大幅に減少しております。しかし、沢山ある吸入薬から患者さん毎に適切なものを選ぶことの難しさ、また、ほとんど吸入指導もなく安易に処方されている現状など改善すべき点多々指摘されております。さらに吸入療法だけでは十分にコントロール出来ない重症・難治性喘息に対する新規治療薬も徐々に臨床応用されております。冬場の長引く咳をたかが咳と思わずにぜひ呼吸器内科を受診されてください。



呼吸器科医 橋本 敦郎

ウィズコロナ

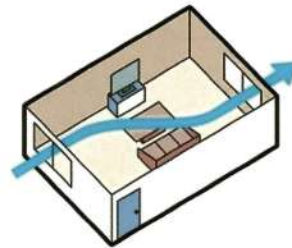
ウィズコロナとは、コロナウイルスと“共に生きる”ことを前提に、私たちの暮らしのかたちそのものを、変えていこうというのです。

2020年12月、厚生労働省より感染リスクが高まる「5つの場面」が提示されました。

マスクを外して近距離での会話が高リスクであることが示されています。感染を広げないため個人ができる感染対策は、以下の5つの場面を避けることと手指消毒です。換気の効果的な方法もお伝えしたいと思います。

冬場の効果的な換気の方法

- 換気扇を回す、換気口を開けるなど機械設備を活用
- 暖房で室内を暖めた後、暖房を入れたまま窓を開ける
- 開ける窓は対角線上にある2カ所
- 寒い場合は、30分に1回3、4分程度を目安に



(ダイキン工業ホームページなどを参考に作成)

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



Information

発熱外来を始めました

診療時間：平日 14：00～16：00（土・日・祝日は休診となります）

開始時期：令和2年11月24日(火)から

受診方法：電話での予約が必要となります。

電話予約受付：13：00～17：00（平日のみ）

電話番号：095-857-3366

夜間想定防災訓練を行いました

長崎百合野病院では、防災訓練を年2回実施しておりますが、毎年11月には夜間を想定した防災訓練を実施しており、本年度も11月20日(金)に実施いたしました。一人での避難行動が困難な入院患者等を抱える状況で、さらに夜間という医療職員（医師・看護師・事務職）が少ない時間帯で火災が起きた場合に、いかに連携を取りながら患者の命を守るのか、職員全体参加の事前研修を経て、緊張感をもって訓練に臨みました。夜間防災訓練は、毎回の反省点を踏まえて、今後もさらなるレベルアップを目指して実施していきます。



救急告示病院

診療時間

平 日：8時30分～12時00分／13時00分～17時00分
土曜日：8時30分～12時00分

休診日

日曜日・祝祭日・年末年始(12月30日～1月3日)

ただし急患の方は、24時間受け付けます

外来担当医			月	火	水	木	金	土
午前	整形外科	1診	瀬良	鈴木	森	瀬良	鈴木	交替制
		2診	花谷	安達	梶山 長大整形外科	花谷	安達	
		3診		森		森	津田 長大整形外科	
	内科	1診 (新患)	橋本 呼吸器	橋本 呼吸器	柿内 感染症	豆谷 消化器	大坪 総合	常勤医 で対応
		2診 (再診)	柿内 感染症	大坪 総合	大坪 総合	大曲 消化器	橋本 呼吸器	
		3診 (再診)	藤澤 循環器	豆谷 消化器	藤澤 循環器	柿内 (新患)感染症	豆谷 消化器	
外科		野中	野中	野中	野中	担当医	交替制	
脳外科		藤岡	藤岡	日宇 長大脳外科	馬場 長大脳外科	藤岡		
午後	内科		谷 循環器	柿内 感染症	藤澤 循環器	藤澤(橋本) 循環器(呼吸器)	瀬戸 循環器	
	外科		野中	足立 長大外科	野中	金高 長大外科	森田 長大外科	
	専門外来		睡眠時無 呼吸外来	頭痛外来 (要予約)			物忘れ外来 (要予約)	
放射線科			石丸	大学医師 (午後)	大学医師 (午前)	石丸	大学医師 (午前)	
リハビリ科(午前・午後)			谷口	谷口	谷口	立石	立石	谷口/立石



医療法人 光善会 **長崎百合野病院**

〒851-2103 長崎県西彼杵郡時津町元村郷 1155-2

TEL.095-857-3366 FAX.095-856-6663

HP <http://www.yurinohp.jp> E-mail yurinojm@cello.ocn.ne.jp

